



## 北川法夫議員が 府議会で一般質問

北川法夫議員（寝屋川市選出）は5月24日に開かれた5月定例府議会の一般質問で、大阪府市規制改革会議委員の特別扱いや中小企業融資の損失補償契約回収納付金放棄を厳しく追及、府市統合に関し警察署の配置および鉄道のネットワーク化、さらに京阪本線の連続立体交差事業や寝屋川地域の密集市街地問題で理事者側の取り組みについて質問しました。

### 府市統合 区割りばかりが注目されて…

### 警察署の配置も含めて 検討しているか

**Q. 北川議員** 大阪府市統合本部会議や大阪府・大阪市特別区設置協議会の場で特別区の区割りの議論が進められているが、警察署の配置まで含めて検討しているのか。

**A. 知事** 警察行政については、引き続き広域自治体が担うことが基本ではないかと考えている。警察署の配置は警察本部で検討されるものである。

### 大阪全域の 交通ネットワーク化を

**Q. 北川議員** 府市統合の議論で、鉄道については、市営地下鉄の民営化が中心で、ネットワークについて十分な議論がされていないように感じる。広域自治体の大阪府として、大阪市内だけを見るのではなく、大阪府域、関西全体を見つめ未来のために、必要な鉄道は「こうあるべき」といった考え方を持つべきだ。府域の鉄道ネットワークの充実に向け、積極的に検討していく必要があると思うが、都市整備部長の所見はどうか。

**A. 都市整備部長** 鉄道は利用者の視点に立って、一層便利なものにすることが必要。府では鉄道の計画・構想路線に対し有識者からは、鉄道の費用対効果だけでなく都市の賑わいや観光振興等の波及効果を考慮することが重要で既存ストック活用の視点も大事という意見をいただいている。これらを踏まえつつ方向性を全庁議論の上、今年度末をめどに「公共交通戦略(案)」をまとめる。



〈北川法夫 きたかわのりお〉  
昭和23年9月10日生まれ。関西大学商学部、同経済学部卒。北川石松衆議院議員秘書、自民党寝屋川支部長。現在7期目。この間、府議団幹事長、政調会長、第102代大阪府議会議長を歴任。現在、府議会府民文化常任委員。  
<http://www.kitakawa.org/>

大阪府市規制改革会議

### 特別顧問・参与 報酬日額

最大  
**55,000円** > 委員 最大  
9,600円

これって  
適正  
ですか？

### 従来の委員並に改めるべきでは

### Q. 北川議員

大阪府市規制改革会議の設置について、大阪の成長戦略推進や産業活性化のため民間視点で規制緩和や制度の改善、見直しを進めること自体に反対ではありません。しかし、特別顧問、特別参与として委嘱された委員に特別に高い報酬を払うとしています。他の単独の附属機関とことさら異なる位置づけとするのは納得できません。異なる扱いとする理由はなにか。委員報酬の単価は従来の附属機関の委員並みに改めるべきです。

### A. 知事

規制改革会議の委員には多岐にわたり適宜必要な活動や作業を行っていただくために特別顧問、特別参与として委嘱する必要があります。報酬は、昨年9月議会で決議された「大阪府市共同設置附属機関条例」および「非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例」に基づき支払うものです。私が依頼した個別の施策テーマについて立案の段階から調査・検討を行っており、報酬額は適正な水準であると認識しています。